

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
<p>朝食が遅いため、朝食と昼食の間が短いため昼食が食べられない。</p> <p>4人部屋での携帯電話を使用している患者が多い。</p> <p>朝の挨拶をもっと大切にしたいと思っています。</p>	<p>この度は貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。配膳時間の変更には、職員の勤務時間、各部署の業務内容や時間の変更など、多岐にわたり解決しなければならない課題があり、対応が難しい状況です。ご理解いただけますと幸いです。</p> <p>また、携帯電話の使用に関しましては、マナーモードに設定していただき、通話は各病棟の案内表示に定められた場所をご利用いただくようお願いしております。多床室で通話している場面がみられた際は、こちらからお声をかけるようにしております。</p> <p>今後も挨拶をはじめとした接遇を強化し、患者さんやご家族が安心して気持ちよく入院生活を送れるよう、サービス向上に向け取り組んでまいります。</p>

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
<p>こうげん病科のあるB1のAEDのバッテリー切れ！！ 2025.1.10となっておりますヨ！！</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 AED本体に貼付されたシールに記載されている日付は、実際にバッテリーを交換した日付のため管理上問題はありませんが、設置場所により運用が統一されていなかったため、このたびのご指摘を踏まえ、今後はAED本体へのバッテリー交換済日の表示は行わないこととしました。 なお、バッテリー及びパッドの交換時期につきましては、臨床工学科が責任をもって管理しておりますのでご安心ください。 ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
<p>玄関前の送迎車の駐車について 私は月2～3回妻を乗せて車でお世話になっています。 病気の妻を正面玄関で降ろして障害者駐車場に向かいます。妻は足が不自由なのでゆっくりと内に入り椅子に座っています。 玄関前に先に来た車が出て、手前のカーブから曲がれない時もあり、何より停車中の車には運転者がいないのです。長い時間車を置いたままです。タクシーあり、介護業者あり、歩行者の誘導にガードマンが立っていますが何も言いません。あとから来る人も具合の悪い病人です。降ろしたら直ぐに車を移動させるような心配りができないのでしょうか。</p>	<p>このたびはご不便をおかけしまして申し訳ございません。 正面玄関前の患者専用乗降場には、乗降後は速やかに車を移動していただくよう看板を設置し、協力をお願いしております。また、長時間停車されている方がいる場合は警備員から声掛けをし、乗車・降車後は速やかに車を移動していただくようお願いをしているところですが、今後は、警備員からの声掛けをさらに積極的に行い、利用しやすい環境づくりに努めてまいります。 ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。</p>

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
<p>身障者の駐車スペースを拡大して欲しい。 足の悪い家族が遠くの駐車場まで車を置いて戻る、この大変を考えたことありますか。タクシーのスペースと いっても、いつも止まっているのを見たことがないので すがね。もう少し患者だけでなく老々家族のことも考え て欲しい。やさしさに欠ける病院ということは断言出来 ます。</p>	<p>ご不便をおかけしまして申し訳ございません。 歩行困難者用駐車場はご利用される方が多く、駐車台数 も限られているため、満車の場合は順番待ちとしてその 場で待機していただくか、お急ぎの方については、病院 横の立体駐車場をご案内しております。 なお、タクシーの待機スペースにつきましては、タク シーの円滑な利用のために必要であり、歩行困難者用駐 車場に変更することは難しいものと考えております。 ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。</p>

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
<p>移転先に問題があるため、意見を述べます。 ・ 土壌汚染・洪水・軟弱による液状化 このようなハザードエリアに1000億円超をかけてまで災害拠点病院を移転するメリットを教えてください。 また、市民にはほとんど開示されていなかった中で、移転が決まった経緯を教えてください。 能登半島地震でも解明されたように、軟弱地盤を改良しても、揺れ幅が増幅し液状化が起こり建造物が倒壊する怖れがあります。 災害拠点病院が機能しなくなったら、船橋市民の命を助けることが出来ません。 また、本来遊水池だった場所に建てる訳ですから、念田川が氾濫した場合に洪水が起こり、近隣住民に被害を及ぼします。 更に税金を投入することになります。 船橋市は、医療センターの収益で返済して行くという計画ですが、そもそも赤字経営という話を聞きました。 市民の命が救えない、二次災害のリスク、税金の異常な投入に市民が気付き始めています。 安心・安全と言い切れる根拠を示して回答して頂きたいと思います。 なお、「院長への手紙」として、病院ホームページ上と、1階の掲示板にも両方に回答をあげてください。よろしくお願い致します。</p>	<p>当院は、船橋市唯一の「第三次救急医療機関」であるほか、専門的ながん治療の提供とともに、地域の医療との連携の中心的な役割を担う「地域がん診療連携拠点病院」、災害発生時に多発する重症傷病者への対応等を行う「地域災害拠点病院」など、市民の皆様の命を可能な限り守るという役割を担っております。</p> <p>昭和58年の開院以降、約40年が経過し、この間、医療需要の増加等に対応するため施設の増築を繰り返してきた結果、機能が分散配置され効率性が大きく低下していること、設備の老朽化が進行していること、施設の狭あい化等が原因で、患者さんの受け入れに限界が生じていること、医療技術の進歩にあわせた治療を行うスペースが確保できないことなど様々な問題が生じています。</p> <p>こうした問題を解決するために、建て替えの検討をはじめました。建て替えに向けた基礎調査の中で現地建て替えの検討を行いました。が、メリットが少なくデメリットが多く、新たな敷地への移転を視野に入れた検討が必要であるとされました。</p> <p>その後、現敷地、近隣農地含む7つの候補地について市関係部局で検討を行いました。が、病院として必要な立地条件や建築条件、必要な規模を満たすような土地が見つかりませんでした。</p>

皆さんから寄せられたご意見等

(※基本的には原文通りに掲載させて頂いております。)

受付期間：令和7年2月分

ご意見	当院の考え・対応
	<p>このような中、海老川上流地区のまちづくり予定地内への移転の可能性が示され、同予定地内を移転候補地とする検討を開始し、その後移転候補地を『海老川上流地区まちづくり』予定地内としました。以上が移転を決めた経緯となります。</p> <p>次に懸念されている「土壌汚染」、「洪水」、「軟弱による液状化」についてですが、「土壌汚染」については、新病院建設予定地は船橋市海老川上流地区土地区画整理組合より取得しており、組合より環境基準法に規定する土壌の汚染に係る安全基準をすべて満たしていることを確認しています。</p> <p>「洪水」については、新病院を建てる敷地の高さを「想定し得る最大規模の降雨」による浸水予測より高くしております。</p> <p>「軟弱による液状化」については、詳細な地盤調査結果に基づき、液状化など敷地特有の事象も考慮して構造設計を行い、安全性の検証を行っています。また、病院棟など建物の下に液状化対策を行い、建物以外でも屋外の救急車両動線などに液状化対策を行います。</p> <p>新病院建設予定地は様々な検討を重ねた結果、用地確保の確実性や、土地の大きさ、立地、建築条件などを総合的に勘案して選定したものであり、選定した用地について、その用地の特性および施設の特性に応じて、必要な対策を講じていることから、一日も早い建て替えを実現し、救える命をもっと増やしていくこと、このことが当院の大切な役割、使命と考えており、責任をもって取り組んでおります。</p> <p>ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>